2018-19 53th

Rotary クラブ週報

東京城東ロータリークラブ

2018. 8. 27　第2435回例会

会長テーマ　若井一郎

「親睦と友情を見つけ
楽しいクラブに」

国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2580地区ガバナー
松坂順一

第2580地区幹事
今井　忠

(当クラブ担当)
ガバナー補佐：江川　勝
東分区幹事：石渡嘉郎

インスピレーションになろう

例会日：毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：東武ホテルレバント東京
〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2　Tel:03-5611-5511

事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-5-5 A ビル
Tel:03-5637-4605　Fax:03-5637-4611
E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：若井　一郎　　副会長：秋山恭一郎
幹事：根本　弘道　　副幹事：今井　邦彦
会報委員長：村上 愼吾

2018/8/20(月)
「オリンピックの裏話」
（株）スポーツシンクタンク
代表取締役社長 戸井田 朋之 氏

2018年8月20日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『我等の生業』
ゲストスピーカー	1名
ゲスト及びビジター	3名
会員出席状況	45名32中名(出席率71.11%)
前々回訂正出席率	100%

ニコニコボックス

◎夏休み、渡辺さんに色々とお世話になりました。
東京東 RC　金子勝明様

○戸井田様、本日の卓話よろしくお願いします。
若井一郎君・根本弘道君・今井邦彦君
石川　勲君・齊藤榮一君・上條隆志君
佐野一信君・奈良康司君・渡辺孝至君
池永憲明君

○お祝いを頂いて。
齊藤榮一君

小計￥37,000.-　累計￥361,000.-

- 来月9月の受付当番 -
鈴村君/田島君/宮崎君/村上君/山口君

本日の卓話

「ロータリーにおける危機管理とセクハラについて」

東分区ガバナー補佐
江　川　勝　氏

次回の卓話

「ガバナー公式訪問」

第2580地区ガバナー
松坂順一　氏

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2018. 8. 21

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

笑顔の理由

2012 年、リカルド・ロマンさんがデパートで買い物をしていたとき、20 代前半らしき女性が近づいてきました。

「見覚えはない」とロマンさんは感じたそうですが、それもそのはず。その女性と以前に会ったのは 10 年以上も前。そして何よりも、彼女の笑顔に劇的な変化があったからです。

レニャーカ・ロータリークラブ（チリ）の会員であるロマンさんは、口唇口蓋裂やほかの先天性欠損症がある子どもを支援するプログラムで全国コーディネーターを担っています。この女性は、支援を受けた子どもの一人でした。

『「これが私のロータリアンスマイル」、と彼女は言ったんです』

そう振り返る、ロマンさんの声は震えていました。

このプロジェクトは 1993 年、サンフランシスコのロータリアンが、チリで再建手術を行う医療団を派遣したことから始まりました。これこそ現在、26 カ国にチームを派遣するまでに発展したプログラム、ロータープラスト（Rotaplast）の始まりです。

2004 年からチリのロータリアンがプログラムを主導するようになって以来、数年間で同国の多くの医師が参加するようになり、癌患者の乳房再建を行えるほどプログラムは拡大しました。

「スペイン語を話す人と英語を話す人が一緒に活動して結果を出してることがロータリーの素晴らしさ」と、米国オハイオ州の整形外科医、ジェームズ・リーマン（フェアローン・ロータリークラブ会員）は話します。

今年 2 月、リーマンさんは、米国の形成外科医、麻酔科医、看護婦のチームと共に、チリ北部の国境から約 130km 南の港町イクイケを訪れました。チームの食費・宿泊施設の支払い、国内交通費は、近くの鉱物産業からの資金援助や地元会員が賄いました。飛行機代は医師たちが自己負担したほか、オハイオ州の非営利団体がスタッフ渡航費を負担しました。

チリでは年に約 600 人の口唇口蓋裂の子どもが生まれています。政府が 8 つの治療センターを設立しても、その順番待ちリストは長く、何年も待たなくてはなりません。

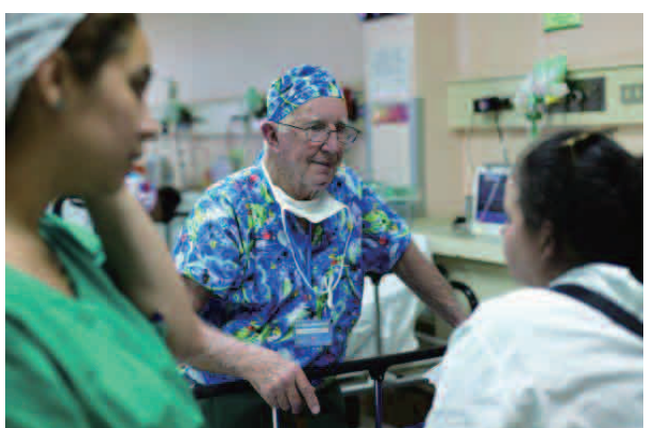
そのため、チームが活動する病院では、土曜の朝早くから 250 人を超える患者の行列ができました。チリ全国から患者が集り、中には 2000km 以上も旅してきた家族もいました。

手術室は 4 つあり、それぞれ口唇口蓋裂、耳の再建、乳房再建、その他の用途に使用します。チームは多忙です。患者のニーズと複雑さに基づいて決定が行われ、今回の滞在中に患者 82 名に手術をしました。多くの患者は完全な再建に複数回の手術を要し、中には完了まで数年間、毎年手術を受けなければならない人もいます。

最後の手術が終わっても、患者とロータリーとの関係は続きます。

冒頭で元患者と再会したロマンさんは、その後、その女性をロータリー行事に招待しました。300 人の会員を前に、彼女は自分の人生を変えた手術について講演。彼女の輝くロータリアンスマイルに、多くが涙を流しました。

（執筆：Diana Schoberg
写真撮影：Daniela Prado Sarasúa）



次週９月３日（月）【ガバナー公式訪問】

１０時００分	親睦・ＳＡＡ集合
１０時３０分～	会長幹事打合せ
１０時４５分	会員集合
１１時１５分～	クラブ協議会
１２時３０分～	例会（ガバナー卓話）
１３時３０分～	理事役員会